



第1回グループワークを振り返って

WSの感想

- 今後のWSに期待したい。
- 跡地の大きな内容が聞けて良かったと思います。
- 短時間では在りましたが、今後の活動方針は分かりました。
- 集団の持つ力は良いですね。
- 皆様の質問を聞いて勉強になりました。
- 最初なので共通理解をすることが中心だったのかなと思いました。そのかいあって、皆の理解が深まっていったと思います。次回へ続けるにあたって、時間配分が良かったと思います。
- 情報の共有地として、たっぷり時間を使っていただいたことで、前提となる制約条件が明確になり、とても良かったです。これで全員が同じ土俵に立てたので、今後の話し合いがスムーズに進むのではないのでしょうか。
- 私が通学していた学校がそのような場に立地しているのかと感じた。
- 跡地を利用するにはこんなにも制約が多いと思うと先が見えづらい。
- 東二小利活用に当たり条件を把握できた。

- 情報共有が主だったが、知らなかった情報を知れたし、市側の温度感もある程度分かった。
- みなさん心配している事を感じた。
- 決まりごとが多く、何が出来るのかが、疑問が生じた。しかし、たくさんの人が質疑応答をして、疑問がなくなった面もあった。
- 色々な意見が聞けて楽しかったけど、なんだかモヤモヤしました…。
- 制約があまりにも多く、何が出来るか不安だが子供たちのために夢のあるアイデアを出したい。
- 質問においてもいろいろな意見があって面白いと思いました。
- 市の強力な(?)バックアップもあるようで実現可能な方針が決定されることへの期待が持てました。
- 大学の専門性を活かせることと、その学生さんの多くが参加されることをその場にて初めて知り、驚きました。
- 皆さん色々意見があって参考になった。土地の利用に決まり事が多いことに驚いた。

WS 前回プログラム

6月16日(土)15:00~18:00

【場所】八千代台東町会館

1. 開会
 - ◇開会のあいさつ
2. 八千代台まちづくりプロジェクト紹介
3. WS進め方の説明
 - ◇八千代台東第二小学校利活用における前提条件
 - ◇ワークショップの取り組み方とルール
 - ◇質疑応答
4. WS開催(グループワーク)
 - ◇残すべきもの抽出(二小レガシー)
 - ◇導入すべき機能の抽出
 - ◇討議内容報告
5. 閉会
 - ◇町会長のあいさつ
 - ◇振り返りシートの記入

八千代台東第二小学校利活用プロジェクトによる「第1回八千代台東第二小学校利活用ワークショップ(以下:WS)」が、平成30年6月16日(土)に開催されました。

第1回八千代台東第二小学校利活用WSでは顔合わせを兼ねたWSとして、日本大学理工学部まちづくり工学科の岡田研究室の協力のもと、八千代台まちづくりプロジェクトの経緯や、これまでの成果について情報を共有し、八千代台東第二小学校利活用に当たっての前提条件や質疑応答を行いました。グループワークでは3班に分かれ八千代台東第二小学校(以下「東二小」)で残すべきもの(東二小レガシー)や導入すべき機能について意見交換を行いました。

本プロジェクトでは、東二小の有効的な利活用を行うことにより、地域の活性化を目指しています。皆さんも東二小の利活用について一緒に考えてみませんか?

【次回開催日程】
平成30年7月14日(土)14時~
場所:八千代台東町会館

八千代台東第二小学校利活用プロジェクトの趣旨

◆プロジェクト実施の背景

わが国では人口減少社会に突入し、地域経済の維持や人口減少問題の克服といった、新たな社会・都市問題に直面したことを背景に、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。これを受け、八千代市では平成28年3月に「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「絆(つな)がる・創る“和”のまち八千代」を基本理念に掲げ、その実現方策として「八千代台まちづくりプロジェクト」を展開しました。そして、その延長として、平成26年度末をもって学校施設としての役割を終えた東二小の利活用策を検討するに当たって、「八千代台東第二小学校利活用プロジェクト」を発足しました。



校章



校庭と校舎



体育館



体育館内にある校歌



卒業生の記念作品



くじらプール



校庭にある防災倉庫と災害用井戸



プリン山



斜面緑地

今後のWSに期待していること

- 行政主導から住民主導へ。
- 住民全員が納得できること。
- 素晴らしいアイデアが出てきそう楽しみです。
- 広く声を取り上げていただけるので、委員の皆さんが安心して、町づくりの意見を伝えられるのではないのでしょうか。今の方向性でどうぞよろしくお願いいたします。
- どう課題を解決するのか、行政がどのように動いているのか学びたい。
- 四季の花でいっぱいになりたい。スポーツ施設などができれば良い。
- 責任問題を恐れる以上に魅力がある人を惹きつけるものを用意して、東町と八千代市の斜陽を打開したい。
- アイデアを出すには、他の地域の取組等も比較してから検討してみたい。(まだ住み始めたばかりなので…)地域に「何が必要」という具体的なものはまだ見えていないが、自分の希望という意味でもしっかりと考えていきたい。
- いいアイデアを考え出し、よりよい利用活用をしたい。
- スポーツ施設ならばフットサル場。

- フグの養殖場をたてたい。
- バラとか花の販売場のある畑にする。
- 近隣公園とのフェンスを取り払い一体化。
- 僕は東日本大震災で、発生直後、東二小の体育館に居たのですが、当日、起きた時に、正直、歩くのが困難なほどのゆれを感じたので、これから、きちんと、手入れをして、災害に対するスペースにしてもらいたい。
- 回を重ねてもっと意見が通るといいな…。
- いろいろな意見が出るようにアドバイスをお願いします。
- 様々な年代、社会層の方との多様な意見と発想を向うことで将来的に最良の活用法を見出せること。
- 高齢化してゆく町のレガシーを如何に生かし、成長をさせるかの課題には専門性ある情報、知識が不可欠でこの活動こそタイムリーに、活かせることを大いに期待している。
- 町会の方々の力で、有効活用できるようにしてほしい。
- ソーラーの利用で野菜を栽培する。

WSで発言できなかったこと、補足説明したいこと

- 小さな場所でもいいので、ドックランを作ってほしいです。
- 森の件ですが、東二小の子供たちは学年を問わず、一番好きでしたので、何らかの形で是非残していただきたいと思っています。
- 途中で思いついたものとして、校舎の一部を残して一部だけ補修工事とかできないか?有料利用ではなく、利用者から寄付を募る、では、国庫のお金を返さなくて済むようにできないか?を検討してみたい。
- 駐車場を作る。

- 八千代台地区でも高齢化が進んでいる東地区に、人が集まって活動できる多目的な広場にしたい。
- 「特区」の詳しい説明を聞きたかった。
- 防災上大切なことはわかるが、地元、地域の活性化もまた重要、経済的な面もあり、予算もあり、重要なテーマは山積みで、多角的な意見交換をしたい。
- スポーツ施設として利用したい。

◆次回以降の主な流れ

<p>【第1回】 6月18日(土)15時~ 【場所】八千代台東町会館 ◎プロジェクトの「前提条件」を共有 ◎コミュニケーションを図るための簡単な意見交換</p>	<p>済</p>	<p>【第2回】 7月14日(土)14時~ 【場所】八千代台東町会館 ◎グループ相互での意見交換を通して共通事項を導く</p>	<p>次回!</p>	<p>【第3回】 ◎「運営主体・体制・維持管理方法」をメインに討議 ◎地元組織中心でどこまで運営可能かを共通認識</p>	<p>【第4回】 ◎ゾーニングプランの確認 ◎運営体制と運営方法の検討 ◎基本方針の策定</p>	<p>【第5回】 ◎地元の連帯感を高めるためのイベント実施 ◎基本方針の実現可能性調査</p>
--	----------	---	------------	--	--	---

◇お問い合わせ先◇

八千代市 総務企画部 総合企画課

電話: 047-483-1151 E-Mail: seisaku1@city.yachiyo.chiba.jp

発行者: 日本大学理工学部まちづくり工学科岡田研究室

発行日: 平成30年7月5日(木)

第1回ワークショップ開催!!

「八千代台まちづくりプロジェクト」がこれまで取り組んできた内容や成果等の紹介をはじめ、東二小利活用の前提条件についての説明や、プロジェクト内容における質疑応答を行いました。その後、グループワークでは3班に分かれ①残すべきもの（東二小レガシー）②導入すべき機能（平時、災害時のそれぞれ）の抽出および、意見整理を行いました。

質疑応答（Q：参加者からの質問内容、A：市役所からの回答内容）

Q：老人ホームなどの福祉施設を作って、その中に地域交流施設を作る考えはどうか。

A：市が直接建設することは考えていないが、社会福祉法人に土地を貸与し、特別養護老人ホームを整備することは考えられる。その際には、地域の交流スペースのことは検討されると思われる。

Q：敷地に建築物を建てられるのか建てられないのかはっきりしてほしい。

A：新たな建築物は、市の財政状況から難しいと考えている。

Q：体育館は避難所として使えないのか？

A：建物は解体することが考えられるので、今年度予定している地域防災計画の見直しのなかで検討する必要がある。

Q：建物を建てて民間の人（企業）に有料で貸し出すことは可能か？

A：有償の場合、校舎と体育館を建設した際の国からの補助金を返還しなければならない。無償で貸し出すことになると考えられる。

Q：容積率 100%、建ぺい率 50%とは？

A：50坪の敷地に対し、建築面積 25坪で延床面積 50坪までしか建てられないという制限のこと。

Q：校庭を畑にして、その上にソーラーパネルを設置することは可能か？

A：ソーラーパネルを「東屋」のように柱と天井のみの構造として建築の許可をする部署が認めるのであれば、可能性はあるが、同部署への確認が必要である。

Q：避難所の大きさ(収容率)に基準はあるのか？

A：大きさに基準は無いが、収容人数の計算は、1人に対し1畳分の面積となっている。

Q：一般の住宅用地として売る可能性はあるのか？

A：市では、東二小の跡地を売却する考えはありません。

Q：体育館は使用可能か？

A：体育館を、使用可能な状態にするためには、莫大な費用がかかる。また、第1種低層住居専用地域では、スポーツ施設は制限されているので、スポーツ目的では使用できない。

Q：現在、暗渠構造になっている芦太川を開渠にすることは可能か？

A：大雨が降ると芦太川は氾濫する恐れがあるため、開渠にするのは難しいと考えられる。

Q：近隣公園と一体的に活用することはできないか？

A：八千代市の公園では球技や、花火が制限されており、自由な活用ができない。そのため、東二小跡地独自の活用策を考えたい。なお、近隣公園との境界にあるフェンスを除却することは可能である。

Q：テニスコートは整備できるか？

A：コートの整備は可能だが、管理棟は建築できない。スポーツ目的の建築物は不可なので、管理棟は建築できない。

Q：子どもが水遊びをする池などをつくることはできるのか？

A：敷地内の八千代市側では地すべりに関する規制がかかって難しいと思うが、千葉市側ならつくることは可能であると考えられる。

Q：新しく遊具を設置することは可能か？ドッグランの設置は可能か？

A：地域の人が望めば可能である。

Q：校舎や樹木は除去するのか？また、千葉市側の敷地は返還するのか？

A：校舎は取り壊す予定だが、樹木の除去は跡地利用に応じて考えたい。また、敷地の芦太川部分は千葉市との共有であるが、それ以外は八千代市の所有地である。

グループ討議の意見一覧

	東二小の残すべきもの			東二小の導入すべき機能		
A班	・斜面樹林			・梨農園	・キャンプ場	・サクラやモミジ等の植樹
	・プリン山			・非常時の電話	・AED	・災害時にも活用できるトイレ
B班	・井戸	・プール	・プリン山	・こども同士のスキンシップの場		
	・防災倉庫	・校舎の一部	・つり橋	・貸し農園	・バラ園	・アスレチック
	・給水ポンプ	・クジラプール	・アスレチック系	・虫採り園	・ホテル園	・バーベキュー場
	・玄関前の庭園	・野鳥観察園	・トラック以外の遊具	・スポーツ施設	・ヤギや鶏の放牧	・人が集まる施設
C班	・みょうが等の草の植生	・校舎のまま学校として利用		・ピオトーフ庭園	・ドッグラン	・屋根付きの休憩場
				・子供の自然体験場	・簡易釣り堀	・駐車場（100台以上）
C班	・プリン山	・千葉市側の斜面	・池や時計	・ウォーキングスペース		
	・記念樹	・遊具（アスレチック等）	・クジラプール	・小川	・バーベキュー場	・サッカーグラウンド
				・テニスコート	・駐車場	・災害用マンホールトイレ
			・災害後における仮設住宅をつくる場	・ランニングコース	・テント村	

ワークショップの様子



「八千代台まちづくりプロジェクト」の紹介

プロジェクトマネージャー（当時）の熊谷さんによるこれまでの取り組みについての説明



東二小利活用に関する質疑応答

東二小利活用に関する前提条件の説明に対する住民からの質疑応答の様子



WSの開催状況

住民のみなさんで今後、残したいものや新たに導入したい機能についての話し合い